

箇村の者、元和八年此処に新田を開く、寛永年中洪水して河原となる、此高六石三斗五箇村にて今に納る。

一、西河原 村の西五町四十五間到有、南北四町三十八間、東西一町二十一間、出尻、宮下、館村、田村山村、石原村と八合、草を刈に便よし。

一、的場河原 村に続く東西二十八間、南北十八間、石河原。

右の河原に藁草有、活藁、五加、車前草、免絲子。

一、米九斗七升八合出し、逆瀬川村、軽沢村山に入て薪を伐る。

一、村に有所の鳥、雀、むく鳥。

貞享二年書上げ

会津郡荒田村 田舎道十里

一、鎮守熊野権現、祭礼九月十九日、宮下社家来祭。

相殿 湯殿、稻荷

一、菩提所真言宗多光山東泉寺、高老石五斗五升寄進、外六斗九升三合新田高宮下より寄進。

一、漆役木数三百本分有、蠟漆上納而不足分代金上納。

一、逆瀬川へ御年貢米六斗四升宛年々出、葉柴、かくまを株取。

一、軽井沢へ相場米二斗宛年々出、葉柴、かくまを取。

一、葭泥河原 当村、石原、田村山、館、宮下、五ヶ村入合当村にて支配す。

一、蟹川へ代六百文づつ年々出、大川舟橋を渡る。

一、家職 繩大、筵少、田畠稼の間に出ず。

文化六年風土記より